

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年2月2日（水）

2 確認箇所

ブルータンクエリアD（G1タンクエリア北側）

3 確認項目

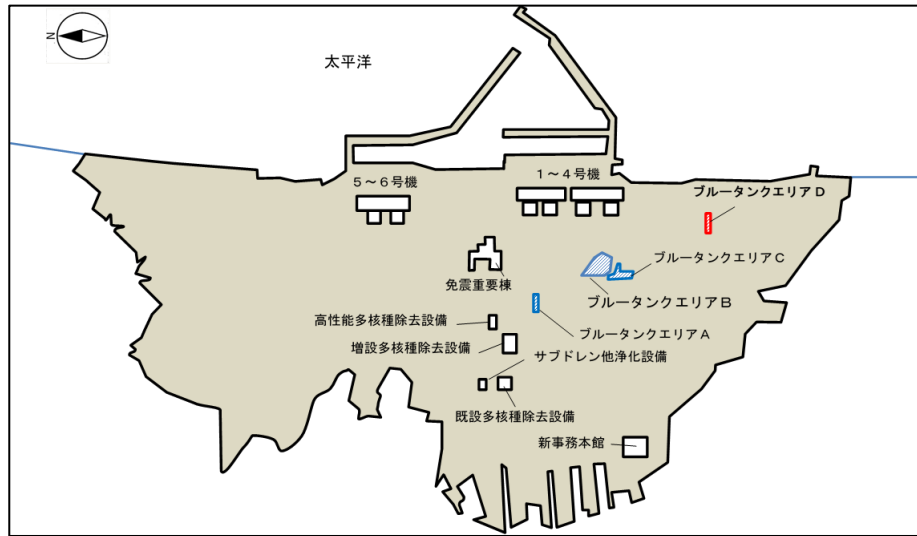
構内に保管されているブルータンクの保管状況

4 確認結果の概要

溶接型タンクへのリプレースに伴い撤去された横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は構内4箇所（ブルータンクエリアA、B、C、D）に保管されており、これまでブルータンクエリアA～Cの保管状況を確認してきたが、今回（2月2日）はブルータンクエリアDにおける保管状況を確認した。（前回確認日：[令和3年11月9日](#)（ブルータンクエリアA）[12月7日](#)（ブルータンクエリアB）[12月16日](#)（ブルータンクエリアC））

- ・ブルータンクエリアDは構内南東側のG1タンクエリア北側に設置されており、100基のブルータンクが他のエリアと同様に2段積み状態で保管されていた。（[図1](#)、[写真1](#)）
- ・地震対策として、下段のタンクはH鋼の台座に備え付けられた専用の架台で固定されるとともに、上部のタンクとベルトにより固縛されていた。（[写真2](#)）
- ・当該エリアには、関係者以外が立ち入らないように、単管パイプによる区画が設置されていた。（[写真1](#)、[3](#)）
- ・保管されているブルータンクの表面は、FRP（繊維強化プラスチック）で保護されているが、FRPの保護材に亀裂が生じている箇所や一部剥離してタンクの鋼材が露出している箇所が見受けられ、飛散防止対策として、保管されているブルータンク全体がネットで覆われていた。

（[写真4](#)）



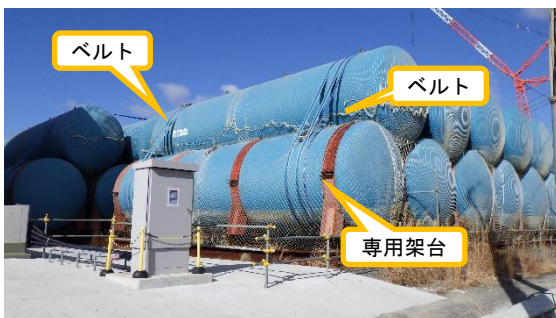
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
ブルータンクエリアDの概観①
(南西側から撮影)



(写真1-2)
ブルータンクエリアDの概観②
(北東側から撮影)



(写真2)
ブルータンクの固定状況
(南東側から撮影)



(写真3)
単管パイプによる区画の例
(エリア西側を北側から撮影)



(写真4)
FRP保護材の亀裂、剥離の例
(エリア北東側を北側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。